

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 30 年 3 月 4 日 13 時 30 分～16 時)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 110 問で解答時間は正味 2 時間 30 分です。
2. 解答方法は次のとおりです。
 - (1) 各問題には 1 から 4 までの 4 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)では 1 つ、(例 2)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 問題 100 県庁所在地は (例 2) 問題 101 県庁所在地はどれか。

どれか。

1. 栃木市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

2 つ選べ。

1. 宇都宮市
2. 川崎市
3. 神戸市
4. 倉敷市

(例 1) の正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙 ① の場合

100	①	②	③	④
100	①	②	●	④

答案用紙 ② の場合

100	100
①	①
②	②
③	●
④	④

(例 2) の正解は「1」と「3」であるから答案用紙の①と③をマークすればよい。

答案用紙 ① の場合

101	①	②	③	④
101	●	②	●	④

答案用紙 ② の場合

101	101
①	●
②	②
③	●
④	④

記入上の注意事項

- ① 答案の作成には HB の鉛筆を使用し、濃くマークすること。

良い解答の例……● (濃くマークすること。)

悪い解答の例……⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことにならない。)

- ② 答えを修正した場合には、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり ● のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。

- ③ (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

- ④ 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問題 1 柔道整復師免許で正しいのはどれか。

1. 都道府県知事の免許を受けて柔道整復を業とするための資格である。
2. 柔道整復師は名称を独占する。
3. 試験に合格した者の申請により名簿に登録する。
4. 他の人に貸与、譲渡、相続することができる。

問題 2 柔道整復師法第4条に規定されている欠格事由で意見聴取の機会が与えられるのはどれか。

1. 麻薬中毒者
2. 肢体不自由者
3. 精神機能障害者
4. 品位を損する行為をした者

問題 3 柔道整復師法施行規則において柔道整復師が死亡した場合、届出義務者が名簿の登録の削除を申請しなければならない期日はどれか。

1. 5日以内
2. 10日以内
3. 20日以内
4. 30日以内

問題 4 柔道整復師が業務として行えるのはどれか。

1. 外科手術を行う。
2. 患部に施術に伴う湿布を行う。
3. 患部に痛み止めを注射する。
4. 診療放射線を人体に照射する。

問題 5 柔道整復師法で広告できるのはどれか。

1. 案内地図
2. 赤十字マーク
3. 学会の認定事項
4. マッサージ実施

問題 6 柔道整復師法第 29 条に規定されている 50 万円以下の罰金に処せられる者はどれか。

1. 業務の停止命令に違反した者
2. 広告の制限に違反した者
3. 施術所の開設、休止、再開の届出をしなかった者
4. 医師以外の者で無免許で柔道整復を業とした者

問題 7 法令において誤っているのはどれか。

1. 法律の制定には国会の議決が必要である。
2. 柔道整復師法施行規則は政令である。
3. 府令は内閣総理大臣(内閣府)が発する。
4. 柔道整復師法は公法である。

問題 8 医療事故調査・支援センターの業務はどれか。

1. 医療事故の再発防止に関する普及啓発を行う。
2. 患者又は家族からの医療における苦情又は相談に応ずる。
3. 住民に対し医療の安全確保に関する必要な情報の提供を行う。
4. 病院等の管理者又は従業者に医療の安全に関する研修を実施する。

問題 9 小児疾患における「説明と同意」はどれか。

1. リスボン宣言
2. 医療コンプライアンス
3. セカンドオピニオン
4. インフォームド・アセント

問題 10 再免許で再教育研修を受けるのはどれか。

1. 保健師
2. 柔道整復師
3. 理学療法士
4. 視能訓練士

問題 11 リハビリテーションの意味で誤っているのはどれか。

1. 復 職
2. 名誉回復
3. 復 権
4. 収 容

問題 12 関節強直の原因で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 骨
2. 軟骨
3. 筋肉
4. 皮膚

問題 13 末梢神経麻痺で正しいのはどれか。

1. 筋トーンスの増強
2. 軽微な筋萎縮
3. 腱反射の消失
4. 病的反射の出現

問題 14 国際障害分類(ICIDH)で能力低下はどれか。

1. 心臓の大動脈弁閉鎖不全のため心拍出量が落ちている。
2. 変形性股関節症のため500mの歩行ができない。
3. 廃用のため独居の自宅へ退院できない。
4. 認知機能低下のため発症前の仕事に復帰できない。

問題 15 下肢筋力増強のための仰臥位での膝伸展位下肢拳上訓練で大腿広筋群の筋収縮はどれか。

1. 等尺性筋収縮
2. 等張性筋収縮
3. 遠心性筋収縮
4. 求心性筋収縮

問題 16 関節可動域訓練で正しいのはどれか。

1. 愛護的に伸張運動を行う。
2. 1秒程度の持続時間で伸張運動を行う。
3. 他動伸張が基本である。
4. 伸張前に拘縮部を冷却する。

問題 17 脳卒中に伴う障害で同時性障害はどれか。2つ選べ。

1. 嚥下障害
2. 褥瘡
3. 変形性脊椎症
4. 失認症

問題 18 脳梗塞慢性期で左片麻痺がある。痙性麻痺で共同運動を認め、内反尖足のために歩行が不安定である。

歩行補助具として用いるのはどれか。

1. 左短下肢装具
2. 左長下肢装具
3. 左膝装具
4. 両側松葉杖

問題 19 脳卒中急性期の患者に対して他動的関節可動域訓練を施行する。

不動が長い場合、拘縮を生じやすい部位はどれか。

1. 橈側手根伸筋
2. 上腕三頭筋
3. 大腿四頭筋
4. 腓腹筋

問題 20 頸髄損傷による完全四肢麻痺(第5頸髄節残存)で可能な目標はどれか。

1. 自助具使用での食事動作
2. 床上での更衣動作
3. 頸髄損傷者用に改造した自動車の運転
4. 下肢装具を使用しての歩行

問題 21 43歳の男性。2か月前に高所での作業中に転落し、第5頸椎脱臼骨折をきたし頸髄を損傷した。脱臼骨折は整形外科で観血的整復固定術を施行されている。現在の徒手筋力テストは両肘関節の屈曲が4、手関節の背屈が4および肘関節の伸展が0であり、握力は0kgである。

リハビリテーションで正しいのはどれか。

1. ハンドリムにゴムを巻き車椅子駆動練習
2. 車椅子移乗時の立ち上がり練習
3. 車椅子での坂道の昇降練習
4. 車椅子でのキャスターあげ練習

問題 22 生理的な脊柱の彎曲はどれか。

1. 頸椎前彎
2. 胸椎前彎
3. 胸椎側彎
4. 腰椎後彎

問題 23 関節リウマチでみられる手の変形はどれか。

1. 猿手
2. 鷲手
3. 太鼓ばち指
4. 手指尺側偏位

問題 24 意識障害の評価に用いられるのはどれか。

1. 前頭葉機能バッテリー(FAB)
2. Japan Coma Scale(3-3-9 度方式)
3. Mini-mental state examination(MMSE)
4. 長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)

問題 25 下肢の閉塞性動脈硬化症で認められるのはどれか。

1. 失調性歩行
2. 間欠性跛行
3. アヒル歩行
4. トレンデレンブルグ歩行

問題 26 皮膚の状態で誤っている組合せはどれか。

1. くも状血管腫 ————— 腎不全
2. 陰部潰瘍 ————— ベーチェット(Behçet)病
3. 紫 斑 ————— 再生不良性貧血
4. 黄 疸 ————— 肝硬変

問題 27 頸部の状態で正しい組合せはどれか。

1. 翼状頸 ————— クラインフェルター(Klinefelter)症候群
2. 項部硬直 ————— パーキンソン(Parkinson)病
3. 頸部リンパ節腫脹 ————— 伝染性単核球症
4. 瘻性斜頸 ————— バセドウ(Basedow)病

問題 28 胸郭の変形と原因の組合せで正しいのはどれか。

1. 鳩 胸 ————— マルファン(Marfan)症候群
2. 扁平胸 ————— 心臓弁膜症
3. 漏斗胸 ————— 胃癌術後
4. 樽状胸 ————— 慢性閉塞性肺疾患

問題 29 肺肝境界の位置を決めるのに用いられる身体診察法はどれか。

1. 視 診
2. 打 診
3. 聴 診
4. 触 診

問題 30 聴診で正しいのはどれか。

1. 聴診では直接法を用いることが一般的である。
2. 高周波数の音を聴く時にはベル型を用いる。
3. 胸部の異常呼吸音ではグル音に注意する。
4. II音は半月弁によって発生する。

問題 31 臓器と触診位置の組合せで正しいのはどれか。

1. 心 臓 ————— 心窩部
2. 肝 臓 ————— 臍 部
3. 胆 嚢 ————— 右季肋部
4. 脾 臓 ————— 右側腹部

問題 32 マックバーニー一点に圧痛を認めるのはどれか。

1. 胃潰瘍
2. 胆嚢炎
3. 虫垂炎
4. 腎結石

問題 33 C5レベルの脊髄を含む腱反射はどれか。

1. 下顎反射
2. 上腕二頭筋反射
3. 上腕三頭筋反射
4. 橈骨反射

問題 34 消化器系症状と疾患の組合せで正しいのはどれか。

1. 胸やけ ——— 逆流性食道炎
2. 腹 痛 ——— アルコール性肝障害
3. 黄 疸 ——— 腸閉塞
4. 下 痢 ——— 胃 癌

問題 35 肺気腫で正しいのはどれか。

1. 横隔膜は挙上する。
2. 1 秒率は低下しない。
3. 禁煙が重要である。
4. 在宅酸素療法は行わない。

問題 36 うっ血性心不全の患者で歩行時に呼吸困難や動悸を生じる NYHA 分類はどれか。

1. I 度
2. II 度
3. III 度
4. IV 度

問題 37 神経障害が出現するのはどれか。

1. 溶血性貧血
2. 鉄欠乏性貧血
3. 再生不良性貧血
4. ビタミン B₁₂ 欠乏性貧血

問題 38 慢性腎不全の原因とならないのはどれか。

1. 高血圧
2. 糖尿病
3. 尿崩症
4. 糸球体腎炎

問題 39 膀胱炎の症状はどれか。

1. 高熱
2. 頻尿
3. 浮腫
4. 背部叩打痛

問題 40 発汗過多、眼球突出、頻脈および手指振戦を示すのはどれか。

1. アジソン(Addison)病
2. クレチン病
3. バセドウ(Basedow)病
4. クッシング(Cushing)病

問題 41 性行為感染症でないのはどれか。

1. 後天性免疫不全症候群(AIDS)
2. 破傷風
3. 梅毒
4. 淋病

問題 42 50歳の女性。2か月前から四肢近位筋に対称性の筋力低下と筋肉痛があり、しゃがむと立ち上がることができない。両上眼瞼部に紫紅色の紅斑があり、手指関節、肘関節および膝関節の伸側に落屑を伴う紅斑を認める。関節腫脹はない。

考えられる疾患はどれか。

1. 痛風
2. 皮膚筋炎
3. 関節リウマチ
4. 変形性関節症

問題 43 65歳の男性。3年前からの歩行障害を主訴に来院した。四肢の振戦、固縮、体の動きにくさ及び姿勢反射障害を認めた。

考えられる診断はどれか。

1. ハンチントン(Huntington)病
2. パーキンソン(Parkinson)病
3. アルツハイマー(Alzheimer)病
4. クロイツフェルト・ヤコブ(Creutzfeldt-Jakob)病

問題 44 熱傷で正しいのはどれか。

1. I度は瘢痕を形成する。
2. II度は痛みを感じない。
3. II度は水疱を形成しやすい。
4. III度は植皮の適応とならない。

問題 45 治療で誤っている組合せはどれか。

1. 梅毒 ————— ペニシリン
2. 破傷風 ————— 抗ウイルス薬
3. 蜂刺傷 ————— 抗ヒスタミン薬
4. ガス壊疽 ————— テトラサイクリン

問題 46 誤っている組合せはどれか。

1. 犬咬傷 ————— 一次縫合
2. 血管縫合 ————— 外翻縫合
3. 消化管吻合 ————— 内翻縫合
4. 感染創 ————— デブリドマン

問題 47 全身麻酔の前投薬の目的で誤っているのはどれか。

1. 不安の除去
2. 感染症の予防
3. 気道分泌の抑制
4. 胃内容誤嚥の予防

問題 48 止血法で誤っているのはどれか。

1. 鼻出血ではペロックのタンポン法を用いる。
2. 食道静脈瘤では硬化療法を用いる。
3. 静脈性出血では中枢側を圧迫する。
4. 緊縛法では一時的に止血帯を緩める。

問題 49 意識障害で正しいのはどれか。

1. 昏睡では呼びかけると覚醒する。
2. 傾眠は刺激がなくなると眠ってしまう。
3. 見当識障害では痛み刺激に反応しない。
4. 開眼していれば意識障害はない。

問題 50 脳卒中の初期症状で誤っている組合せはどれか。

1. 橋出血 ————— 呼吸異常
2. 被殻出血 ————— 片麻痺
3. 小脳出血 ————— 回転性めまい
4. くも膜下出血 ———— 眼 振

問題 51 ポビドンヨードの殺菌力を低下させるのはどれか。

1. 脂 肪
2. 蛋白質
3. 炭水化物
4. アルコール

問題 52 急性拒絶反応の出現時期として正しいのはどれか。

1. 24 時間以内
2. 1 週間以内
3. 2 か月以内
4. 4 か月以内

問題 53 補助器具を用いない人工呼吸法の際、息を吹き込む時間で適切なのはどれか。

1. 1 秒
2. 3 秒
3. 5 秒
4. 7 秒

問題 54 65歳の男性。自転車走行中に転倒し、ガードレールで左前胸部を強打した。呼吸困難となり救急搬送された。来院時血圧 98/64 mmHg、脈拍 100/分、呼吸回数 20/分。体表面に明らかな外傷はみられない。来院時の胸部エックス線写真(別冊 No. 1)を別に示す。

考えられる診断はどれか。

1. 無気肺
2. 気胸
3. 心臓破裂
4. 大動脈破裂

別 冊 No. 1
写 真

問題 55 スポーツ障害肩で正しいのはどれか。

1. インピンジメント症候群は上腕二頭筋と関節窩の衝突で生じる。
2. スラップリージョンは関節窩下方の骨棘である。
3. ベネット(Bennett)リージョンは下方関節唇の骨棘である。
4. 肩甲上神経麻痺は肩鎖靭帯による絞扼で生じる。

問題 56 正しい組合せはどれか。

1. 軟骨無形成症 ————— 青色強膜
2. 骨形成不全症 ————— 顔面神経麻痺
3. 大理石骨病 ————— 骨形成障害
4. マルファン(Marfan)症候群 ——— 解離性大動脈瘤

問題 57 くる病で誤っているのはどれか。

1. 成長の障害
2. 歩行開始の遅延
3. 骨端線閉鎖後の発症
4. 下肢の高度な変形

問題 58 アテトーゼ型脳性麻痺で誤っているのはどれか。

1. 麻痺は永続的である。
2. 緊張時の不随意運動がある。
3. 知能低下がある。
4. 大脳基底核に障害がある。

問題 59 正しい組合せはどれか。

1. 小児急性化膿性骨髄炎 ——— 骨端に好発
2. ブロディ(Brodie)膿瘍 ——— 瘻 孔
3. 化膿性関節炎 ————— 肺炎球菌
4. 脊椎カリエス ————— 流注膿瘍

問題 60 痛風発作時の治療として適切でないのはどれか。

1. インドメタシンの投与
2. 尿酸のコントロール
3. 飲水の奨励
4. コルヒチンの投与

問題 61 ペルテス(Perthes)病で誤っているのはどれか。

1. 男児に好発する。
2. 関節症の原因となる。
3. 股関節の開排制限がみられる。
4. ドレーマン(Drehmann)徴候がみられる。

問題 62 骨腫瘍と好発部位の組合せで誤っているのはどれか。

1. 骨肉種 ————— 骨幹端部
2. ユーイング(Ewing)肉腫 ———— 骨幹部
3. 骨巨細胞腫 ————— 骨端部
4. 骨軟骨腫 ————— 骨幹部

問題 63 下腿コンパートメント症候群の症状でないのはどれか。

1. 疼 痛
2. 運動麻痺
3. 蒼 白
4. 皮膚萎縮

問題 64 外反母趾で正しいのはどれか。

1. 第1中足骨が外反している。
2. 凹足変形を合併する。
3. 母趾は外旋する。
4. 女性に多い。

問題 65 43歳の男性。右下肢の疼痛と脱力を主訴として来院した。3週前に重量物を拳上した際に、いわゆるぎっくり腰になった。右下腿遠位外側から足背に感覚障害を認める。

この患者にみられる所見はどれか。

1. スパーリングテスト陽性
2. 膝伸展筋力低下
3. 母趾伸展筋力低下
4. 膝蓋腱反射低下

問題 66 小児骨折で誤っているのはどれか。

1. 骨折の治癒過程で骨に過成長が起こる。
2. 幼小児の脛骨骨幹部では骨膜下骨折が起こりやすい。
3. 骨は柔軟性に富んでいるため粉碎骨折を生じることは少ない。
4. 骨のリモデリングが盛んで捻転転位の自家矯正は顕著である。

問題 67 骨折と後遺症の組合せで正しいのはどれか。

1. 前腕骨骨折 ————— 過剰仮骨形成
2. 肋骨骨折 ————— ズデック (Sudeck) 骨萎縮
3. 踵骨骨折 ————— 阻血性骨壊死
4. 上腕骨外科頸骨折 ———— 外傷性骨化性筋炎

問題 68 反復性脱臼の原因となるのはどれか。

1. 骨軟骨の発育障害
2. 関節の弛緩
3. 自身の筋力
4. 腱付着部の裂離骨折

問題 69 脱臼を疑わせる所見で誤っているのはどれか。

1. 弾発性抵抗を認める。
2. 関節軸が変化する。
3. 関節血腫が著明である。
4. 関節窩部に陥凹を触知する。

問題 70 リスフラン関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 背側脱臼は足背アーチが低下する。
2. 底側脱臼は足底部に足根骨前部が突出する。
3. 内側脱臼は足内縁に内側楔状骨が突出する。
4. 外側脱臼は足外側縁に第5中足骨基部が突出する。

問題 71 筋腱と骨摩擦部の組合せで正しいのはどれか。

1. 棘上筋腱 ————— 小結節部
2. 上腕二頭筋腱 ————— 関節下結節部
3. 長母指伸筋腱 ————— リスター結節部
4. 長母指外転筋腱 ————— 尺骨茎状突起部

問題 72 足関節底屈強制で症状が誘発されるのはどれか。

1. 第1ケーラー(Köhler)病
2. 有痛性三角骨
3. アキレス腱断裂
4. 足底腱膜炎

問題 73 大腿四頭筋損傷の患者から主訴聴取後に行う身体所見評価で正しいのはどれか。

1. 関節可動域や大腿周径の計測
2. 腫脹や出血斑の確認
3. 筋硬結や陥凹の確認
4. FNSテストによる確認

問題 74 直ちに医師の診察を要するのはどれか。

1. 徒手整復前に末梢動脈の拍動を認めなかった。
2. 蒼白だった顔色が徒手整復後に紅潮してきた。
3. 包帯施行後に末梢部にしびれ感を訴えた。
4. 固定除去後に関節可動域が制限されていた。

問題 75 基本包帯法で正しい組合せはどれか。

1. 肩 部 ——— 扇状帯
2. 母 指 ——— 亀甲帯
3. 膝 部 ——— 人字帯
4. 足 部 ——— 麦穂帯

問題 76 骨折と好発部位の組合せで誤っているのはどれか。

1. 頸椎楔状圧迫骨折 ——— 第3頸椎
2. 頸椎棘突起骨折 ——— 第7頸椎
3. 胸椎椎体圧迫骨折 ——— 第7胸椎
4. 腰椎椎体破裂骨折 ——— 第1腰椎

問題 77 肩甲骨体部骨折で正しいのはどれか。

1. 粉碎骨折が多くみられる。
2. 骨片の転位が大きい。
3. 患肢は内転位で保持する。
4. 深呼吸によって疼痛が軽減する。

問題 78 上腕骨近位端部骨折で正しいのはどれか。

1. 骨頭骨折は骨癒合が良好である。
2. 解剖頸骨折は関節内血腫が著明である。
3. 骨端線離開は肩関節内転・屈曲位固定する。
4. 小結節単独骨折は肩関節前方脱臼に合併する。

問題 79 介達外力による上腕骨骨折で遠位骨片が前上方に転位するのはどれか。2つ選べ。

1. 外科頸内転型骨折
2. 骨幹部骨折(三角筋付着部より遠位骨折)
3. 顆上屈曲型骨折
4. 外顆骨折

問題 80 上腕骨骨幹部横骨折で偽関節が発生しやすい原因はどれか。

1. 接触面積が広い。
2. 海綿質が豊富である。
3. 整復位保持が困難である。
4. 軟部組織が介在しやすい。

問題 81 上腕骨顆上伸展型骨折で正しいのはどれか。

1. 内転位の残存はリモデリングが期待できる。
2. 前方傾斜角の減少によって屈曲制限をきたす。
3. バウマン角の増大は内反肘変形を示唆する。
4. 積極的な他動運動によって関節可動域訓練を行う。

問題 82 モンテギア(Monteggia)骨折で正しいのはどれか。

1. 伸展型に比べ屈曲型が多い。
2. 伸展型では尺骨は前外方凸の屈曲変形を呈する。
3. 尺骨神経麻痺を合併する。
4. 屈曲型では肘関節鋭角屈曲位、前腕回外位で固定する。

問題 83 手根骨骨折で正しいのはどれか。

1. 舟状骨骨折は直達外力によって発生することが多い。
2. 小菱形骨骨折に合併する骨折では第1中手骨骨折がある。
3. 有鉤骨鉤骨骨折はゴルファーにみられる。
4. 月状骨単独骨折は月状骨周囲脱臼より多く発生する。

問題 84 中手骨頸部骨折の整復で正しいのはどれか。

1. 整復時、手関節は軽度屈曲位とする。
2. 側副靭帯を弛緩させて行う。
3. MP 関節伸展位で末梢牽引を行う。
4. 遠位骨片を掌側から背側に直圧する。

問題 85 指骨骨折で捻転転位を伴いやすいのはどれか。

1. 末節骨横骨折
2. 中節骨骨幹部骨折
3. 基節骨頸部骨折
4. 基節骨基部骨折

問題 86 棘果長の延長がみられるのはどれか。

1. デュベルニー (Duverney) 骨折
2. マルゲーニュ (Malgaigne) 骨折
3. セゴン (Segond) 骨折
4. ポット (Pott) 骨折

問題 87 果部骨折におけるラウゲ・ハンセン分類で、前脛腓靭帯の断裂とともに、外果の斜骨折がみられるのはどれか。

1. 回外・内転骨折
2. 回外・外旋骨折
3. 回内・外旋骨折
4. 回内・外転骨折

問題 88 下腿三頭筋の急激な収縮で発生する踵骨骨折はどれか。

1. 水平骨折
2. 載距突起骨折
3. 踵骨体部骨折
4. 踵骨隆起骨折

問題 89 胸鎖関節前方脱臼で正しいのはどれか。

1. 肩に対して後方への介達外力によって発生する。
2. 筋緊張を避けるため頭部を健側に傾ける。
3. 鎖骨中央部骨折との鑑別が必要となる。
4. 変形を残すと大きな機能障害がみられる。

問題 90 反復性肩関節脱臼の原因で誤っているのはどれか。

1. バンカート損傷
2. ヒル・サックス損傷
3. 関節上腕靭帯断裂
4. 肩峰下インピンジメント症候群

問題 91 肘関節後方脱臼の転位で正しいのはどれか。

1. 関節包の後外側面が断裂する。
2. 上腕骨遠位端が後方へ転位する。
3. 橈骨頭は上腕骨小頭の外側面に接する。
4. 尺骨鈎状突起は上腕骨滑車の後壁に接する。

問題 92 股関節後方脱臼で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 股関節過伸展時に股関節の外転、外旋が強制され発生する。
2. 転位した大腿骨頭の隆起が単径部の皮下で触れる。
3. 整復障害因子として関節包裂孔部の狭小がある。
4. 下肢の重さと重力を利用した整復法としてスティムソン法がある。

問題 93 距腿関節脱臼で正しいのはどれか。

1. 前方脱臼では前足部が短縮してみえる。
2. 後方脱臼では足が伸展位に固定される。
3. 内方脱臼では足が回内している。
4. 外方脱臼では足背が内方に向く。

問題 94 橈骨動脈の拍動を調べないのはどれか。

1. アドソンテスト
2. ライトテスト
3. モーリーテスト
4. アレンテスト

問題 95 リトルリーガー肩はソルター・ハリス分類ではどれか。

1. I 型
2. II 型
3. III 型
4. IV 型

問題 96 絞扼性神経障害を起こす絞扼部と神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩甲切痕部 ————— 肩甲下神経
2. クアドリラテラルスペース ——— 腋窩神経
3. フローセの腱弓 ————— 尺骨神経
4. 浅指屈筋腱弓 ————— 橈骨神経

問題 97 疼痛が主症状であるのはどれか。

1. 動揺性肩関節
2. デュピュイトラン(Dupuytren)拘縮
3. ベーカー(Baker)嚢腫
4. 膝蓋軟骨軟化症

問題 98 初期変形性膝関節症の痛みの特徴はどれか。

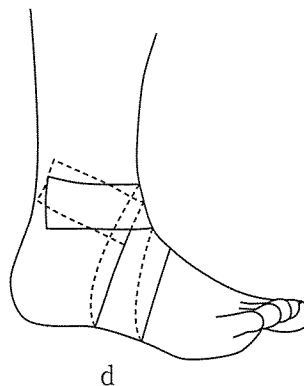
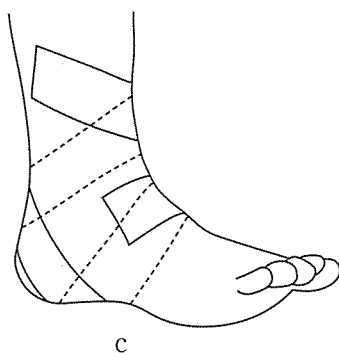
1. 動作開始時
2. 動作中
3. 動作後
4. 夜間就寝時

問題 99 膝関節内反動揺検査で正しいのはどれか。

1. 内側側副靭帯損傷の重症度を判定する。
2. 患側から先に検査を行い健側と比較する。
3. 大腿四頭筋を収縮させて行うと検査が容易である。
4. 30度屈曲位で動揺がなければ伸展位の検査は必要ない。

問題 100 踵の固定を目的とするテーピングはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



問題 101 21歳の男性。2か月前にバスケットボール試合中に左膝を打ち負傷した。脛骨粗面部の発赤と腫脹を認めていたが、症状は軽快したという。最近、運動時に膝窩部痛が出現し来所した。ラックマンテストでエンドポイントはあるが、膝90度屈曲位で脛骨を前へ引くと出るような感じとそこから後ろに押すと戻るような感じがある。

考えられるのはどれか。

1. ジャンパー膝
2. 前十字靭帯損傷
3. オズグット-シュラッター(Osgood-Schlatter)病
4. 後十字靭帯損傷

問題 102 54歳の女性。散歩中に足を滑らせ右手掌を衝いて転倒し受傷した。来所時、右肩関節はやや外転し弾発性固定を認めた。三角筋部の膨隆とモーレンハイム窩が消失していた。整復前と整復後の単純エックス線写真(別冊 No. 2)を別に示す。

整復後の固定肢位はどれか。

1. 肩関節軽度屈曲内旋位
2. 肩関節下垂外旋位
3. 肩関節外転外旋位
4. 肩関節内転内旋位

別 冊 No. 2 写 真

問題 103 33歳の男性。倒立をしている時に転倒し、右の橈骨骨幹部遠位 $\frac{1}{3}$ 部骨折に遠位橈尺関節背側脱臼を合併した。

固定肢位で正しいのはどれか。

1. 肘関節鋭角屈曲位、前腕回外位
2. 肘関節鋭角屈曲位、前腕回内回外中間位
3. 肘関節直角位、前腕回外位
4. 肘関節直角位、前腕回内回外中間位

問題 104 30歳の男性。1週前、野球の試合中バットを強く握りスイングした時、強い痛みを覚えた。受傷直後から小指のしびれを訴えている。手掌の遠位手根骨尺側部分に強い圧痛を認めた。

母指の運動で制限がみられるのはどれか。

1. 屈曲
2. 伸展
3. 内転
4. 外転

問題 105 30歳の女性。パラグライダーで飛行後、右足関節伸展状態で着地して負傷した。歩行不能のため、友人に連れられ来所した。腫脹、限局性圧痛および足関節伸展時痛がみられる。母趾が直角に足底側に屈曲している。

考えられるのはどれか。

1. 踵骨骨折
2. 距骨骨折
3. 舟状骨骨折
4. 立方骨骨折

問題 106 21歳の女性。空手の練習中、相手の肘で頬を強打された。2週後、両側の外耳孔前方に圧痛と同部の疼痛による開口制限があるため来所した。顎関節運動時にクリック音はなく、強制的に開口をさせると開口域増大を認めた。

この患者で考えられるのはどれか。

1. 咀嚼筋障害
2. 関節包・靭帯障害
3. 関節円板障害
4. 変形性顎関節症

問題 107 22歳の女性。事務職員をしている。1週前からパソコン作業をしていると右上肢に鈍痛と冷感を自覚するようになった。その後、通勤時に電車のつり革を握っていると上肢がだるく、鈍痛や冷感の症状が悪化することに気が付き来所した。女性はなで肩である。

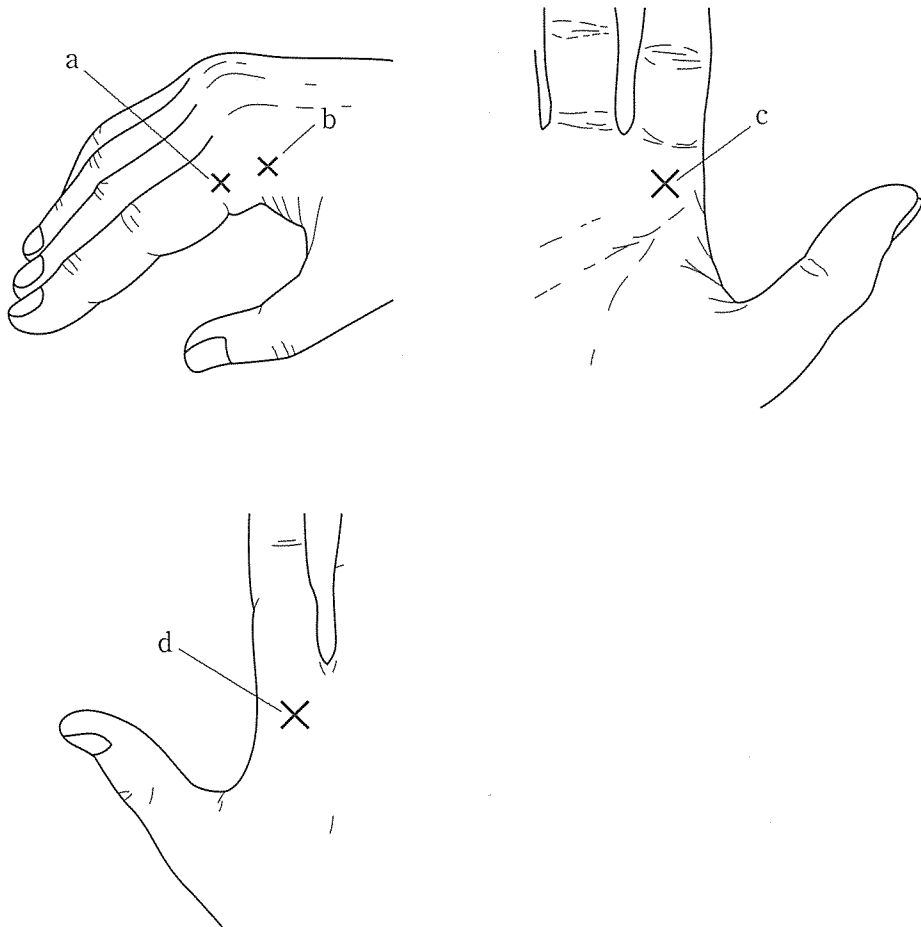
陽性となる検査法はどれか。2つ選べ。

1. ドロップアームテスト
2. ルーステスト
3. スパーリングテスト
4. エデンテスト

問題 108 46歳の女性。右手で瓶の蓋を回し開けようとした時、突然、示指が屈曲位となった。MP関節は30度屈曲位をとり、その位置からの屈曲は可能であるが伸展は不能であった。MP関節に明瞭な腫脹や熱感はなく、PIP関節の屈伸障害もみられない。

この患者の圧痛部は図で示す部位のどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



問題 109 21歳の男性。柔道の乱取り中、相手に技をかけた時に自らもバランスを崩して転倒し、畳に指先を突き受傷した。疼痛が軽度であったので指先をテーピング固定して練習を継続したが、次第に力が入りにくくなり、痛みも強くなったため中断した。この時の患部の写真(別冊 No. 3)を別に示す。中指 DIP 関節の伸展は不能であるが、PIP 関節の屈伸は可能である。

考えられるのはどれか。

1. 指伸筋腱断裂
2. PIP 関節背側脱臼
3. 浅指屈筋腱断裂
4. 正中索断裂

別 冊 No. 3 写 真

問題 110 16歳の男子。高校では陸上部に所属し、長距離を専門としている。最近、競技会が近いいため練習量を増やしたところ、脛骨の内側に痛みが生じ来所した。脛骨内側後縁部に沿った疼痛とストレッチング痛を認めた。

この損傷の原因となるアライメント異常はどれか。

1. 内反膝
2. 扁平足
3. 凹 足
4. 回外足

